

忘年例会を開催

支え合う仲間

創刊号



(楽しいひとときを過ごしたあとは、全員揃って…パチリ!!)

発行
林病院OB会

発行責任者

浅口市金光町八重190-1
加賀純雄
TEL090-9410-3593

忘年例会を楽しく開催

年の瀬も押し詰まった二十二日(日)、林病院のひまわりホールで毎年恒例の「OB会忘年例会」が開かれました。

司会進行係を山下仁志さん(岡山東支部)が務め、前田先生の挨拶、OB会会長の挨拶に続き参加者全員が「今年一年を振り返って」というテーマで体験談を語り合いました。体験談のあとは食事です。隣の人と楽しくおしゃべりしながら美味しい食事を頂きました。

全員の食事が終わったら「ビンゴゲーム」の始まりです。今年から景品の品物代が三百円から五百円に値



上がりしましたが、そのことを忘れてたかのように番号が読み上げられる度に、一喜一憂する声があちこちからあがりました。最初にビンゴしたのは、やや興奮気味に「ヤッター」と声をあげた倉本英生さん(岡山南支部)の奥さんでした。その後番号を読みあげられる度にビンゴする人が次々と出て、景品を手の感触で探りながら、それぞれに景品を持ち帰っていきました。

楽しく過ごす時間は短くて、OB会副会長の加賀純雄さん(鴨方支部)の閉会の挨拶のあと全員揃って記念写真を撮って、散会となりました。

尚、参加者数はOB会会員二十名、家族五名、一般十二名、病院関係者七名の総勢四十四名でした。(昨年は四十五名の参加)



(なかなかリーチが、かからんなアー)

**新春の清々しい心で
断酒継続を誓う
——新年互礼会**

一月二日(木)、毎年恒例の新年互礼会が「サントピア岡山総社」で午前十一時から開催されました。司会進行係を藤川泰三理事(倉敷支部)が務め、山本均・姉佐江ご夫妻(総社高梁支部)による祈年黙祷、矢吹幸三さん(井原支部)による断酒の誓い、秋葉恒丸理事長(総社高梁支部)の新年の挨拶に続いて、倉敷仁風ホスピタルの看護師、矢吹浩子氏による「S-B-I-R-T-S(S-バーツ)」の講演が約四十分ありました。

講演の後散会し、会場内で食事をする人、施設内のおちこちで歓談する人、さまざまですが午後一時前に



再度会場に集まって、宮西英昭副理事長(玉野支部)の閉会挨拶、全断連の歌を斉唱した後、大きな一つの輪になって連鎖握手を行い閉会となりました。

尚、当日山本均さんと斉藤伴行さん(鴨方支部)が本部から完全断酒一年の表彰を受けられました。おめでとうございました。これからも例会出席で断酒継続を目指して下さい。



(秋葉理事長も飛び入りで(左から3人目))



**京都(全国大会)へ
行ってきました
——おこしやすの言葉に誘われて**

昨年(2019)の十月二十日(日) 京都府立体育館(京都市島津アリーナ)で、第五十六回全国大会が開催され、北は北海道から南は九州沖縄までの全断酒加盟の断酒会の会員、家族二、三三四名を始め、行政・医療・教育関係・一般参加も含め総計で二、七九四名が集結しました。

岡山県断酒新生会からもマイカーや本部のバスで六十名の会員、家族が参加しました。今年は十月四日(日)に名古屋国際会議場で全国大会が開かれます。

——おいでん愛知へ 来てちょ——



(一部、非OB会員も含む)

